



# 謹賀新年



地域医療連携室ニュース第60号 2016年1月



病院長 今井 康陽



新年明けましておめでとうございます。平成25年4月に病院長に就任し、早3年近くが過ぎました。団塊の世代が75歳以上になる2025年には、人口の18%が75歳以上になると言ういわゆる2025年問題に代表されるように、我が国において少子高齢化が急速に進んでいます。

当院の急性期病院の役割として、これまで以上に救急総合診療、専門性の高い先進的な医療に積極的に取り組んでいきます。がん診療においては、大阪府がん診療拠点病院として、肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がんの5大がん、さらに前立腺がん、腎がん、膵臓がん、食道がん、婦人科がんなどについて腹腔鏡手術を中心とした手術、内視鏡治療、化学療法、放射線治療、緩和ケアと幅広く高度ながん専門診療を行っていきます。本年3月までに放射線治療装置の更新、新たなMRIの購入など大型医療機器の整備も行います。MRIの2台稼働により地域の先生方からのご依頼に迅速に対応できるようになります。

また、2月末からは消化器内科と消化器外科が一緒になり、消化器病センターを開設し、これまで以上に消化器疾患の診療を充実したものにいたします。特に食道がんは手術、内視鏡治療、放射線治療、化学療法のできる数少ない施設です。

救急受け入れ態勢もさらに充実し、内科、外科、整形外科を中心とした救急患者さんの受け入れを積極的に行っていきます。

市立池田病院は、国が描く地域包括ケア体制の実現に向けた将来構想実現のため、“メディカル・タウン”構想を掲げ、自治体病院として近隣地域を“安心で豊か”なものにすべく、かかりつけ医の先生方、さらに地域の薬剤師の方々、訪問看護師、介護に携わるの方々、行政とも連携し、充実した医療サービスを楽しむまちづくりをめざします。

## 消化器病センターのスタッフ紹介



消化器病センター長  
福田 和人



消化器病副センター長  
太田 博文

平成28年2月末より、消化器内科医と消化器外科医が診療科の垣根を越えて密接に連携し、消化器病の患者さんに、よりよい医療をより迅速に提供することを目的として、消化器病センターを開設します。診断から治療、その後のフォローを含めて、当院消化器スタッフが協同して対応いたします。

一人ひとりの患者さんの治療方針について内科医・外科医が緊密に意見を交わし、さらに放射線科医師、看護師、薬剤師を含めたチーム医療によって最適かつ安全な医療を提供できるよう努めてまいります。さらに、消化器病センターの開設により、大阪府がん診療拠点病院としても、より高度な癌診療をご提供できるものと思っております。

※予約の申し込みについては従来どおりです。



## かかりつけ医紹介カードについて

かかりつけ医紹介カードに記載されているアドレスを変更された場合、当院ホームページ内からアクセスが出来ないケースが発生しております。お手数をお掛けしますが、地域医療連携室までご連絡をお願いいたします。また、かかりつけ医紹介カードの変更や修正などございましたら、今後もお気軽にご相談ください。

発行・編集：市立池田病院 地域医療連携室 事務局

問い合わせ：072-754-6379（直通） 発行日：平成28年1月7日